

# 観光・ブランディングに関する 国際シンポジウム

世界の潮流と観光も包含したナショナルブランディングの必要性  
～ポスト2020オリパラを見据え、「レガシー」を考える～

**同時通訳  
付き**  
(参加費無料)

## シンポジウムの概要

訪日外国人旅行者4000万人時代を迎えんとする今日、その動向は、我が国の社会経済に大きなインパクトを与えています。一方、国連世界観光機関 (UNWTO) のスローガン「観光は平和へのパスポート」の通り、インバウンド誘客は多面的機能を有するものです。我が国を取り巻く世界の情勢が複雑さと不透明さを増す中で、今後とも国際社会において確固たる地位を維持するには、その国が持つ価値観や文化の魅力で相手を魅了することによって生ずるソフト・パワーを高め、普遍性のある文化の価値観に賛同を得ることが肝要であり、パブリック・ディプロマシー (広報文化外交) の重要性が益々高まっています。

我が国では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や2025年大阪・関西万博等が開催され、世界の注目が日本に集まります。アンホルト国家ブランド指数 (NBI) が対象とする「輸出」「統治」「文化」「国民」「観光」「投資/移住」といった総合的な観点から、我が国をブランドとして確立する絶好の機会となっています。

例えば英国では、2012年ロンドンオリパラ開催を契機として始まった「グレートキャンペーン」は、英国が持つ様々な可能性を全世界に紹介し、英国の観光やビジネス等の機会を最大化すべく現在も取り組みが行われています。

我が国において、「ブランドとは何か」「DMO (Destination Management/Marketing Organization) はどうあるべきか」「世界的行事の開催を控え何をすべきか」といった問題意識の解決の一助となるべく、国内外の専門家を招き、世界の先進事例や取り組みを紹介しつつ、世界的行事の「レガシー」の在り方について考察します。

## プログラム

※講演名及び講演者は都合により変更になることもあります。

- 13:30** 開催挨拶 **宿利正史** (一財) 運輸総合研究所 会長
- 13:35** 来賓挨拶 **田端 浩** 観光庁長官
- 13:45** **宮川 学** 外務省国際文化交流審議官

### 第1部 基調講演

- 13:45** 「国家ブランディングとその必要性」(仮)  
**キース・ディニー**  
英ダンディー大学ビジネススクール マネジメント&マーケティング部門長、書籍「国家ブランディング」編者、Brand Horizons 創設者
- 14:15** 「何故『いまさら“ブランディング”とは?』  
なのか?」  
**並木将仁**  
株式会社インターブランドジャパン 代表取締役社長兼 CEO
- 14:45** 「米国DMOの先端的取り組みと今後の方向」(仮)  
**マキコ・マツダ・ヒーリー**  
ニューヨーク市観光局 (NYC & Company) マネージング・ディレクター (ツーリズム・マーケット・ディベロップメント)
- 15:15** 休憩

### 第2部 パネルディスカッション

- 15:35** モデレーター  
**金平京子** 英国政府観光庁 元日本・韓国代表  
ショートスピーチ  
「カルチュラル・ディプロマシーがイギリス観光にもたらしたもの  
～ロンドン五輪を事例に～」(仮)  
**佐野直哉**  
駐日英国大使館 元広報・マーケティングマネジャー
- 基調講演者3名及び佐野氏による  
パネルディスカッション
- 17:15** 終了予定

2019年 **3月13日** 水  
**13:30~17:30** (開場13:00)

**丸ビルホール&  
コンファレンススクエア7階**  
東京都千代田区丸の内2-4-1

主催：(一財) 運輸総合研究所

参加申し込み 下記のURLよりお申し込み下さい。  
<https://krs.bz/jterc/m/sympo190313>



問合せ先：(一財) 運輸総合研究所 Tel:03-5470-8420 Fax:03-5470-8419